

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名          |    | 公表日                                                                                                                                      |    |     |                                                            |                                         |
|---------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 西海市立大島児童発達館支援 |    | 令和 8年 3月 10日                                                                                                                             |    |     |                                                            |                                         |
|               |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                                    | 課題や改善すべき点                               |
| 環境・体制整備       | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 8  |     | ブレイルーム、設定課題の部屋、個別課題の部屋、カームダウンの部屋を準備しています。                  | ドア上部がガラスであるため、プライバシーの配慮に欠ける点がある。        |
|               | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          | 8  |     | 常勤職員2名、非常勤職員5名を配置し、1対1での対応ができるようにしています。                    | 支援者が多い日があるので調整が必要である。                   |
|               | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                    | 8  |     | 活動の内容によって部屋をかえる等の環境的配慮をしています。多目的トイレ、スロープを設置しています。          |                                         |
|               | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 8  |     | 毎日の清掃により、清潔は保っています。屋内遊戯や屋外遊具も設置し、子どもの活動の場を準備しています。         |                                         |
|               | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 8  |     | 不安になった時には、気持ちを落ち着ける部屋を準備しており、いつでも使用できます。                   |                                         |
| 業務改善          | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                          | 7  | 1   | 計画立案から活動の振り返りまで、職員全員が参加している。                               | 事務作業ではPDCAが取り入れられていない部分もあるので改善が必要。      |
|               | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 8  |     | 年1回の保護者アンケートを実施し、意向を把握して改善に努めている。                          |                                         |
|               | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 8  |     | 年間スケジュール立案や課題立案時に意見を聞いて、プログラムの内容変更などを実施しています。              |                                         |
|               | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 4  | 4   |                                                            | 第三者の外部評価を受けれるような予算確保に努めます。              |
|               | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 8  |     | 外部研修及び外部講師を呼んでの研修を実施している。また、コンサルタントに月1回来て頂いて、助言を受けています。    |                                         |
| 適切な支援の提供      | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 8  |     | 法人ホームページで公開しています。                                          |                                         |
|               | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 8  |     | 利用開始時及びモニタリング時期にアセスメントを実施し、個別支援計画に反映させています。                |                                         |
|               | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 8  |     | 計画案を作成し、職員会議にて意見を出し合い、支援内容及び支援方法については検討を行っています。            |                                         |
|               | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 8  |     | 計画案については、職員全員が閲覧し共有し、支援を実施しています。                           | 開催はされているが、シフトを見直して、多くの職員が参画できるように改善が必要。 |
|               | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 8  |     | インフォーマルアセスメントだけでなく、TASPというアセスメントを試行事業として導入しています。           |                                         |
|               | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8  |     | 支援プログラムを5療育にわけており、個別支援計画にも反映し、支援内容についても反映している。             |                                         |
|               | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 8  |     | 年間プログラム、月間プログラム、週間プログラムについて、全員で立案し、日々のプログラムについても全員に周知している。 |                                         |
|               | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                 | 8  |     | 前年度の活動プログラムを取り入れる際にも、内容を変更するなどの工夫をしています。                   |                                         |

|              |    |                                                                                                            |   |   |                                                              |                                                       |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 8 |   | 子どもの特性や気持ちの面で、グループ活動と個別活動を分けている。                             |                                                       |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 8 |   | 療育開始前に、職員全員で打ち合わせをおこなっている。また、週末には翌週のプログラムに流れを実際にやりながら確認している。 |                                                       |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 8 |   | 療育終了後に、職員全員で、振り返りを実施している。                                    |                                                       |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 8 |   | 記録は残しているが、検証、改善には活用できていない。                                   |                                                       |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 7 | 1 | モニタリングは金曜日の午後に翌月、更新児童の会議を実施し、保育園との支援会議はZOOMを活用して実施している。      |                                                       |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 7 | 1 | ZOOMを使用することにより、相談支援事業所や保育園等の関係者が参加できるようにしている。                |                                                       |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 1 |   | 月1回。市保健師、福祉課職員とカンファレンスを実施しています。                              |                                                       |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 8 |   | 全員が並行通園児童なので、情報提供書や定期的なカンファレンスで情報共有をおこなっている。                 |                                                       |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 7 | 1 | 西海市が実施している、幼児教育相談への紹介、情報提供を行っている。                            |                                                       |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)                                                                                          |   |   |                                                              |                                                       |
|              |    | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                 |   |   |                                                              |                                                       |
|              | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                                         |   |   |                                                              |                                                       |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                  |   |   |                                                              |                                                       |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)                                                                                              | 3 | 5 | 月1回のコンサルタント来所にて、スーパーバイズを受けている。                               |                                                       |
|              |    | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                                       |   |   |                                                              |                                                       |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                | 2 | 6 |                                                              | 並行通園児が多く、地域の子どもとの交流は出来ていない。                           |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                                           | 8 |   |                                                              |                                                       |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 5 | 3 |                                                              | 親子療育で、日々、声掛けの方法などはアドバイスしているが、研修の実施や周知はしていないので、実施していく。 |
|              | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                       | 8 |   | 重要事項説明や支援プログラムを使って説明している。                                    |                                                       |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 8 |   | アセスメントで、家族の意向を聞き、計画書に反映させています。                               |                                                       |
|              | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                                         | 8 |   | 保護者に説明し、同意をもらっている。                                           |                                                       |
|              | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                                         | 8 |   | 療育の振り返り時に「家庭での困り事」を確認して、情報提供や傾聴に努めている。                       |                                                       |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                                          |                                                         |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 4 | 保護者が交流できる座談会は実施している（年3回）                                 | 全体の保護者会や兄弟児の交流会は実施していないので、開催に向けて保護者意向を確認する。             |
|          | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 8 |   | 相談がある場合は、職員誰でもいいので相談するように、利用開始時に伝えている。                   |                                                         |
|          | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 8 |   | 月初めに「おたより」を発行しており、インスタグラムで翌週の活動内容を発信している。                |                                                         |
|          | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 8 |   | 鍵のかかるキャビネットに保管し、事業所外に持ちだす時には、管理者の許可が必要としている。             |                                                         |
|          | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 8 |   | 子どもには絵カード、知的障がいのある保護者には、わかりやすい文章に変換して伝えている。              | 重要事項説明書、契約書にルビを振る等の配慮を考えている。                            |
|          | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 2 | 6 |                                                          | 地域住民との交流はあるが、招待するなどの活動は実施しておらず、今後は、地域住民を巻き込んだ運営を計画していく。 |
| 非常時等の対応  | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 6 | 2 | マニュアルを作成し、火災訓練は実施している。                                   | マニュアルはあるが、訓練できておらず、非常時を備えて訓練をする必要がある。                   |
|          | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 | 2 | マニュアルを作成し、火災訓練は実施している。                                   |                                                         |
|          | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 7 | 1 | アセスメント時に、家族から聞き取りをしています。                                 |                                                         |
|          | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 8 |   |                                                          | 保護者からの聞き取りのみなので、指示書があれば安心して支援できるので、取り寄せるようにする。          |
|          | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 7 | 1 | 計画を作成し、研修及び訓練を実施しています。                                   |                                                         |
|          | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 4 | 4 |                                                          | 家族にも周知できるように、玄関に閲覧できるように設置します。                          |
|          | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 8 |   | ヒヤリハットが発生した時には、文章（解決策）を作成し、閲覧しています。                      |                                                         |
|          | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 8 |   | 年1回の研修を実施しています。                                          |                                                         |
|          | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 6 | 2 | 身体拘束を必要とする児童はいないが、今後、利用する場合は、個別支援計画に記載、保護者への説明を行い、実施します。 |                                                         |